■千里中央地区再整備ビジョン　　－構成－

■はじめに

千里中央地区は、これまで、北大阪の新都心としての位置づけや、千里ニュータウンの中心として様々な役割を担いながら発展してきた。しかし、平成６年（1994 年）の「千里中央地区将来構想」以降、千里中央地区では、施設の更新の停滞や業務機能の低下の状況がみられ、また、大型規模商業施設との競争の激化や周辺の大規模プロジェクトの「まちびらき」への対応など、千里中央地区の活性化に向けた再整備の推進が急務となっている。

そのため、千里中央地区のあるべき方向性を明らかにすることとし、平成６年（1994 年）に策定した「千里中央地区将来構想」について、平成 12 年（2000 年）に策定された「大阪 21 世紀の総合計画」（大阪府）や、その翌年に策定された「第３次豊中市総合計画」を踏まえつつ、その後の状況の変化にそって必要な見直しを行い、本ビジョンを策定することとしたものである。

Ⅰ．千里中央地区の現況と課題

１．千里中央地区の現況

・施設立地（施設概要）
・都市機能（商業機能　文化、学術・研究、行政サービス機能　業務機能）
・土地利用・都市空間（都市計画、所有者区分、空間構成、景観、歩行者空間）
・交通・都市基盤（交通施設の利用状況、自動車交通の状況、その他の都市基盤）

２．千里中央地区をとりまく状況

・千里ニュータウンにおける住宅地の動向（住宅供給と居住者の特性、千里中央地区周辺における集合住宅等の建替えの動き）
・周辺の主要プロジェクトとの関わり（彩都、萱野中央、水と緑の健康都市）

３．行政のこれまでの取り組み

・千里中央地区将来構想（昭和６０年、平成６年）
・上位計画（大阪府総合計画、豊中市総合計画、豊中市都市計画マスタープラン）
・関連計画・施策（豊中市千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針、歩いて暮らせる街づくり、豊中市都市景観形成基本計画、周辺住民に対するアンケート）

４．再整備に向けた課題まとめ

①厳しさを増す商業環境への対応
魅力ある施設導入の検討、総合的な活性化の取り組み、駐車場の利便性向上

②業務機能の低下への対応
活性化に向けた新たな機能導入についての検討

③交通ターミナルとしての再整備
周辺プロジェクトの進捗による交通需要への対応、中心部の交通混雑の解消

④低・未利用の土地・空間の利用
低・未利用地を活用した再整備の検討

⑤公共的な空間の維持・発展
現状の公共的な空間の維持・発展、公共的な空間の質の向上

⑥周辺プロジェクトの影響を踏まえた再整備
周辺プロジェクトとの競合や連携を踏まえた取り組みの検討

⑦不足する施設の導入等による千里ニュータウン再生への貢献
千里ニュータウンの再生に貢献する生活支援機能や住機能の立地の検討

⑧人と環境にやさしいまちづくり
バリアフリー化への対応、環境に配慮したまちづくり

Ⅱ．将来像とその実現に向けて

将来像：『新しい生活を創造する魅力ある新都心―千里中央―』

商業・業務機能をはじめ、文化や福祉、生活支援等の多様な機能が集積することによって、多くの人が集まり賑わう拠点としてあり続けることを目指す。

＜目標＞
○人々の暮らしを支え、文化を育むまち
○これまでの良さを残しながら生まれ変わるまち
○様々な主体が参加するまち
○「新都心」として輝きつづけるまち

■将来像の実現に向けて

（１）都市機能

○既存機能の整備充実
商業機能・・既存商業機能の活性化、様々な価値観やニーズへの対応
業務機能・・地元から起業、彩都との連携と機能分担
文化、学術・研究機能・・周辺地域の連携の核となる機能の充実
行政サービス機能・・既存機能の充実・拡充による市民ニーズへの対応

○新たな機能の導入
高齢者のための福祉・医療施設、多世代居住に資する住機能の導入、若年層・子育て層のニーズにこたえる施設

（２）土地利用・都市空間

○土地利用・都市空間の基本構造の発展
「リザーブ用地」の活用による南北の軸の発展、東西の連携の強化

○空間利用の方向性
未利用の空間の活用、千里中央地区の活性化や千里ニュータウンの再生への貢献を図る機能導入、周辺の環境との調和

○公共的な空間のあり方
快適で安全・安心な空間形成、魅力的な空間形成

○良好な景観の形成
新都心にふさわしい景観形成、関係者による調整やルールづくり

○環境に配慮したまちづくり
ヒートアイランド現象対策や省エネルギーの推進による環境への負荷の低減

（３）交通・都市基盤

○自動車動線と交通ターミナル
自動車交通の円滑化、周辺プロジェクトの交通需要への対応

○歩行者動線
交通施設から主要施設に至るバリアフリー化、歩行者の回遊空間

○駐車場
地区の需要に対応できる駐車場機能の確保、交通案内システム

（４）まちの持続的なマネージメント
持続的なまちのマネージメントの構築、様々な主体の参画と創意工夫、マネージメント組織とルールづくり